

令和6年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 高野地域包括支援センター

1 施設の管理運営

【開所日及び開所時間】

開所日：月曜日～金曜日（12月30日～1月3日休業）

開所時間：午前9時～午後5時

時間外の連絡は転送用携帯電話で受け付け、職員は交代制で対応。あらかじめローテーションを組み、担当の職員が業務用の電話に転送された相談に応じる。

【事業実施地域】

養徳学区、養正学区

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

・総合相談支援、ネットワーク構築として、地域福祉組織、サービス事業所、包括的支援事業等との連携に努め、包括的な支援体制の構築や多職種連携における課題解決を目指す。また、高野圏域認知症ネットの活動を継続し、多職種ネットワークの充実、強化に努める。
・権利擁護業務、高齢者虐待、困難事例、消費者被害への対応として、消費者被害への対応地域への周知活動見守りネットワークの構築に努める。
・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務として、専門職部会やブロック連絡会にて、研修や事例検討会を定期的に行い、介護支援専門員を取り巻く環境や制度の動向を的確に把握し、求められているスキルや知識に即した研修を計画する。
・介護予防の普及啓発として、今年度も地域の活動に参加し、介護予防に関する情報を提供する。支え合い活動（高野学区を元気にする会）の企画・運営に参画し、今年度の催しの広報活動を行う。

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

（参考）自主事業内容

3 サービス提供状況

主任介護支援専門員2名（内1名センター長兼務）

看護師1名、社会福祉士1名、介護支援専門員2名、事務職員1名を配置。

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

可能な限り市内中小企業への発注を行う。

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 介護予防支援給付対象者数（実績値）

2205 人

(2) 相談延べ件数（実績値）

1069 件

(3) 収支実績

ア 令和6年度収入状況（単位：円）

委託料	26,615,400
介護保険収入	10,953,064
その他	41,267
収入計	37,609,731

イ 令和6年度支出状況（単位：円）

人件費	33,988,227
事業費	1,803,158
委託費	1,088,004
小額修繕費	10,870
その他	123,000
支出計	37,013,259

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

定期的なモニタリングでサービスにおける効果や満足度等の把握に努めている。

(2) 利用者満足度把握の結果

迅速かつ丁寧に相談業務を行うよう努めており、利用者から不満や苦情は受けていない。

(3) 意見等への主な対応状況

いただいた意見については上長への報告を必須とし、改善が必要な内容であれば積極的に取り組む。

7 その他特記事項

・150戸ほどのマンションの自治組織より高齢入居者向けの健康サロンの講師依頼を受け、健康講座・詐欺被害防止の啓発活動を行った。
・金融機関主催の高齢者向け健康イベントの協力依頼あり、介護予防推進センターと連携し、体力測定会と詐欺被害防止の啓発活動を行った。

8 評価（指定管理者自己評価）

・圏域内専門職で組織された「高野圏域認知症ネット」と連携し、認知症サポーター養成講座の開催や金融機関5カ所と勉強会、意見交換会を実施。多職種連携による認知症啓発活動に努めた。
・「災害発生を見据えた平時の連携」を地域ケア会議のテーマに据えて活動を展開中。圏域内の福祉専門職と、自主防災会や地域力推進室と相互理解の促進からつながり強化へ変化を促した。また、地域福祉組織に対しては、避難所運営ゲームの実施、京都DWATの被災地支援活動報告、指針の共有などを通じて、自助・互助・共助・公助の役割と連携の重要性を深める機会を提供した。
・圏域内のボランティアリーダーやサロン運営者で組織された「高野学区を元気にする会」の定例会や同会主催のイベント企画、地域の介護予防活動や居場所づくりの取り組みにも積極的に参加した。
・例年にも増して、多職種連携と多世代交流をより重視した動きとなっている。職員の退職等による入れ替りもなく、安定した事業運営に努めた。